

組合加入は  
こちらから



# 府職の友

FUSYOKU NO TOMO

2106号 2020年9月16日

発行所/大阪府関係職員労働組合  
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59  
電話 06(6941)0351・内線3740  
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541  
Eメール info@fusyokuro.gr.jp  
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp  
発行人/小松 康則 編集人/樋口 浩之  
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

職員定数を  
増やすため

## 府職労に加入し あなたの力を貸してください!

台風、地震、感染症などの危機から

### 府民の命とくらしを守る体制を

新型コロナウイルス感染者は増え続けています。単に感染者が何人かという問題だけでなく、陽性者の入院、療養等の調整、陰性となった方や濃厚接触者への対応など、その業務は多岐に渡り、保健所や健康医療部、危機管理室を中心に、深刻な長時間過密労働が続いています。この間、部局を超えた応援体制や年度途中の人事異動など、全庁を挙げての努力も行っていましたが、マンパワー不足は明らかです。こうした事態を根本的にも解消するには、職員定数の大幅増しかありません。

#### 災害や感染症の 流行を想定した 職員体制を

今回のコロナウイルス感

染拡大や自然災害時には、よく「想定外の事態」などと言われますが、日本は「地震大国」と言われ、南海トラフ大地震がいつ起きてもおかしくないとの予測もされ、毎年のように台風

明らかになった  
マンパワー不足  
大阪府が9月10日に発表した「令和2年度 事務事業の見直しについて(案)」では、年間で延べ7万5869人、1日あたり平均208人の職員が新型コロナウイルス対策に係る増員及び応援人員に従事していることが明らかになっていきます。これだけの増員・応援を行ったうえで、昨年度をほるかに上回る時間外勤務も発生

#### 職員基本条例 「職員数管理目標」 は有事を想定せず

2012年に職員基本条例が作られ、職員数管理目標によって、職員が減らされる仕組みが作られ、仕事は減らないのに人が減らされ続け、職員の時間外勤務は右肩上がりに増加し、メンタルヘルスで休職する職員も高止まりしてい

しつわり、マンパワー不足は明らかです。元知事の橋下徹氏も自身のツイッターで「徹底的な改革を断行し、有事の今、現場を疲弊させているところがある」「有事の際の切り替えプランを用意していない」と発言しています。危機管理を想定していない職員基本条例「職員数管理目標」は直ちに



2018年21号台風では、吹洲庁舎に隣接する駐車場で大数の自動車に飛ばされて散乱(大阪民主新報提供)

みんなで力を合わせ  
職員定数増を実現しよう  
府職労は、保健師、保健所職員をはじめ、職員の大規模な定数増をめざすことに

重点を置き、取り組みを強化します。しかし、これまで減らし続けられた職員数を増やしていくことは容易なことではありません。そのためにも、職員みんなの力がどうしても必要になります。一人でも多くの仲間が労働組合に加入し、組織率を高めることが職員増への大きな力になります。「自分が入らなくても」「お金もかかると」「周りはみんな入っていないし」と考えている方もいると思います。しかし、これからの大阪府を良くしていくためには、一部の人の力ではできません。みんなの力が必要です。ぜひ、職員定数増を実現するためにあなたの力を貸してください。左上のQRコードから加入できます。また、お近くの組合役員か府職労本部にご連絡いただいても結構です。加入をお待ちしています。

最前線を担う保健所職員に寄せられる

### 感謝と応援の声

府職労は、現場の実態を広く知らせるため、保健所職員から寄せられる声を連日ツイッター(#大阪府の保健師を増やしてください)で発信しています。そこに寄せられた声の一部を紹介します。



府職労

毎日新規感染者が発表され、増えた減ったばかり報道されるけど、1人でも状態の悪い方がいれば、入院調整、ベッド確保と業務は膨大に。大切なのは数や統計では見えない一人一人の命の重み。そこに向き合うのが公衆衛生の仕事。#大阪府の保健師を増やしてください

公衆衛生という文字に重みを感じます。公務員バッシングの中、最前線を担う方々のディーセントに敬服と感謝。大阪府の保健師を増やしてください。



府職労

子育て中の保健師も多い。それでも休日勤務もしている職員。親が知らぬ間に学校へ行ったり、子どもへの影響が深刻。でも過労死ライン超えの残業している職員を見ると、子どもを残してでも、少しの時間でも役立てるようにしないと。#大阪府の保健師を増やしてください

保健師増やして！看護師増やして！家族も自分も犠牲にしたいくない！



府職労

既往症のある子がPCR検査結果待ちの間、急変したらどうしようと不安になり泣きながら入院させてほしいと訴えてきたお母さん。ゆっくり話を聞いてもっと共感して安心してもらえる関わりがしたいけど、時間に追われて心に余裕がもてないのがつらい。#大阪府の保健師を増やしてください

お母さんの気持ち、保健師さんの気持ち、どちらの気持ちも想像しただけで涙が出てきます。辛すぎます。



府職労

「ピークが過ぎても通常業務もあり全く余裕がありません。緊急事態宣言後からは精神保健相談も急増し、自殺未遂ケースも多発。相談者のニーズに応えられるよう、事故が起きないよう、気持ちを切り替えながら対応するのに必死の日々です。」#大阪府の保健師を増やしてください

「ピークが過ぎたからもう大丈夫なんじゃないの?」「大阪府はIT導入したから他の都道府県より効率化してるよね」「府知事が迅速に対応してくれていいよね」なんて「幻想」が吹き飛ぶ。現場を外部から想像することの難しさがわかる。だからこそ現場の声が大事。



府職労

管理職から全職員に残業を減らすように周知された。それで次のピークがきたとき、やっていけないのだろうか。残業を減らすのは大切かもしれませんが、根本問題を解決せず、締め付けを厳しくしても、解決には繋がらない。#大阪府の保健師を増やしてください

「残業減らすために残業を減らせと部下に指示する」ほど、間抜けな「管理職」はいない。管理職の仕事は部下の残業がなぜこんなにも多いかを分析し、自分の持つ権限と予算を減らすための行動をすることであって、それなしに部下に行動を促すことではないのでは。管理職は残業減らすために何をやるのか。



府職労

### 遊歩道

コロナ禍で公務の重要性が再認識されていますが、その最前線で奮闘されているみなさんに心からの感謝を贈りたいと思います▼さて、ソーシャルディスタンスといったことが日常に定着しつつありますが、これらどんな未来を確立していくか、改めて考えてみるのも面白いかもしれません。私たちの「まちのこと」を決めるならば尚更だと思えます▼これからの岐路となる、いわゆる「大阪都構想」の住民投票が再び行われます。しかし、住民の理解が十分でない中、このコロナ禍で浮き彫りになった課題などを踏まえ、制度設計などもより検討すべきではないでしょうか。少なくとも、現行よりも権限が縮小されることになることから、住民サービスをどのように維持向上していくのか、丁寧に議論し、合意形成が必要だと思います▼「一文惜しみの百知らず」ということわざがあります。目先の損得だけではなく、将来の利益を考える必要があるとの例えです。より良くするために見直しも当然必要ですが、まずは住民の幸せを一番に、自分たちの「みらい」を真剣に考えることが、今こそ大切ではないでしょうか。(一)